

HOT

コミュニケーション

中川絵画塾春の作品展



町内で絵画塾を開いている中川久雄さんと塾生による絵画の作品展が、ふれあい倉庫で開催されました。

中川さんは平成14年から絵画塾を始め、現在は8歳から80歳までの35人に水彩画、油彩画を月に2回指導しています。

ふれあい倉庫での絵画展は5回目となり、生徒さんの腕も確実に上がっているといいます。この日も会場では絵の描き方を質問する親子にアドバイスをしていました。(4月21日)

町内各学校で入学式



当別小学校では94人の新1年生が入学。校長先生やPTA会長のお話を緊張気味に聞いた後、2年生のおにいさん、おねえさんが歓迎の踊りを披露したときには笑顔で見入っていました。

町内に6つある小中学校の全てと北海道医療大学がこの日に入学式を行いました。北海道医療大学では、全国各地から集まった入学生がこれから始まる大学生活に期待と緊張感を持った表情で式に臨んでいました。(4月6日)

食生活改善名誉会員賞を受賞



当別町食生活改善協議会の会員として42年間にわたり活動されてきた元町在住の鮎田光子さん(90歳)に日本食生活協会より90歳以上の会員に贈られる「名誉会員賞」が授与されました。全道でも2人目となる賞に「これからのがんばります。」と背筋を伸ばしていました。(4月9日)

広 告

盛況！一日コックさん



今月号の表紙、共生型地域オープンサロンでは、「一日コックさん」を昨年11月からはじめています。半年間でコックさんの希望者、団体が増え、4月は13回の開催がありました。

毎回工夫されたこだわりの味が楽しめるほか、ボランティアや一般利用者の方も、地域のコミュニケーションを求めて訪れています。この日も用意された40食は午後1時まで完売しました。
(4月16日)

セーフティコール



交通事故死ゼロを目指す「セーフティコール」が春の交通安全運動期間に合わせて実施されました。

当別町交通安全協会山内孝司会長が「これから行楽シーズンを迎え、車の通行が多くなる。児童、高齢者の事故防止に重点を置いて事故をなくしましょう」と挨拶し、当別大通に集まった保育園児から企業、団体の参加者約100人は、通行する車に「シートベルト着用」「スピードダウン」と交通安全を呼びかけました。
(4月10日)



廣 告